

● Photo sketch ●



3/27
~29 作り手から使い手への橋渡し

土岐クラフトフェアがテラスゲート土岐の駐車場で開催され、市内の窯元や全国から集まったクラフトマンなど、およそ100店のブースが並びました。このクラフトフェアは「作る人・使う人・会う場所」をコンセプトに、美濃焼作家とクラフト作家との交流や、作り手と使い手との出会いを生み出す場となっています。来場者はじっくりと吟味して、ずらりと並んだ作品の中からお気に入りの一品を選んでいました。



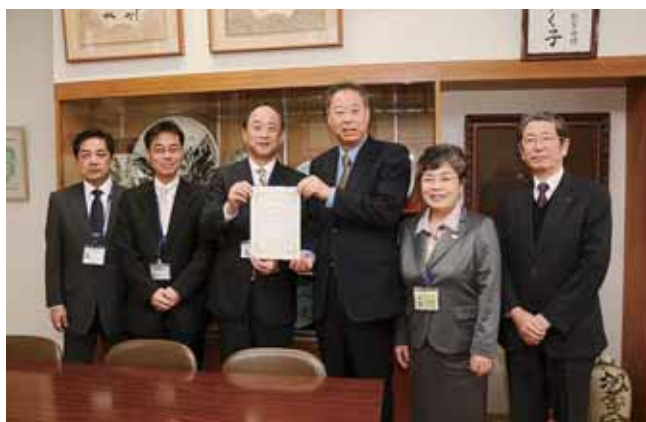
4/16 いつも見守りありがとう

下石町の老人クラブのメンバーで組織する「地域見守り隊」と下石小学校全児童との対面式が同校体育館で行われました。地域見守り隊は、児童らが安全に下校できるよう、下石町内約20カ所で見守り活動を続けています。今年は、見守り隊から登下校時に使用する横断旗が寄付されました。代表の児童は「横断旗を使って安全に登下校したいです。これからも見守りをお願いします」とお礼を述べました。



4/18
~19 お気に入りの器を探します

セラトピア土岐で、第19回TOKI-陶器祭りが開催されました。市内外の陶磁器メーカーや商社、陶芸作家が、セラトピアから中央通りまでテントを並べた「美濃焼買道市」では、産地ならではのお買い得品を求める焼き物ファンで賑わいました。また、屋内では、陶芸と生け花のライブショーやキッズダンス、ロクろ体験教室などが行われ、多くの親子連れが春の陶器祭りを楽しみました。



4/20 届けよう 思いやりの心

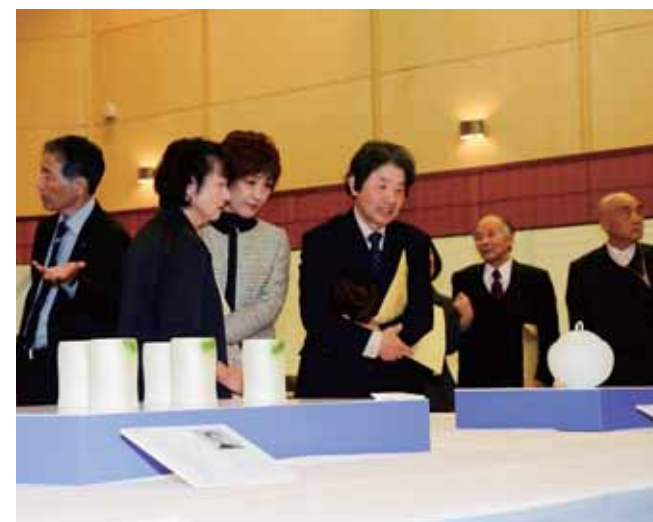
駄知小学校が、岐阜地方務局長および岐阜県人権擁護委員連合会から平成27年度人権推進校の指定を受けました。人権推進校では、協力して花を育てることを通して命の大切さや相手への思いやりを学ぶ「人権の花運動」を中心とした人権啓発活動を進めていきます。同校は、春と秋の2期にわたり、プランターを用いて花の苗植えを行い、育てた花を幼稚園や公民館、福祉施設などに贈る予定です。

4/4 春の訪れを告げる女神

下石自然を守る会による「ギフチョウまつり」が市立総合公園内のあずまや広場で開催されました。町民ら約150人が参加し、約60匹の色鮮やかな羽を持つギフチョウを園内の植物などに慎重に放ちました。



守る会は、「地元にいる生き物を知って、守る気持ちを育ててほしい。貴重だから触らないのではなく、ぜひ手に取って見て」と語りました。子どもたちは、チョウにやさしく触れることで、小さな生き物の命の大切さや命の循環を体感しているようでした。



4/10 第8回現代茶陶展表彰式

セラトピア土岐で第8回現代茶陶展の表彰式が行われ、TOKI 織部大賞や市制60周年特別記念賞など、入賞・入選作品あわせて74点の力作が公開されました。この展示会は、茶陶（茶道に使う陶器の道具）を全国から公募するもので、先人が磨き上げてきた茶陶に現代の作家がさまざまな技法や意匠を凝らし、「新たな茶陶」を生み出すことを目指して開催されるものです。また、この日のセラトピア土岐では、協賛事業の土岐市美術作家連盟春季展も開催されるなど、多くの来場者が、心と目の保養をしました。



土岐市美術作家連盟春季展



Voice TOKI 織部大賞 井戸川豊さん(千葉県)

見て、使って、楽しくなるような器を作りたいと思い、今までやってきました。この受賞を機会に、また一歩前に踏み出せるのではないかと思います。

